

平成24年度技術士第二次試験問題【森林部門】

必須科目

10時～12時30分

Ⅱ 次の2問題のうち1問題を選んで解答せよ。(解答問題番号を明記し、答案用紙3枚以内にまとめよ。)

Ⅱ-1 次の図は、我が国における野生鳥獣による被害面積の推移(図1)、森林資源モニタリング調査におけるシカ被害の状況(図2)を示している。これによれば、野生鳥獣による森林への過剰な圧力が発生し、また、新たな地域へ被害が拡大していることが予想される。こうした野生鳥獣による被害を大幅に軽減しなければ、我が国の森林・林業の再生と生物多様性保全の両立は不可能である。こうした情勢を踏まえて、野生鳥獣による森林被害の実態について述べ、被害軽減対策への取り組みについて具体的な方策を論ぜよ。

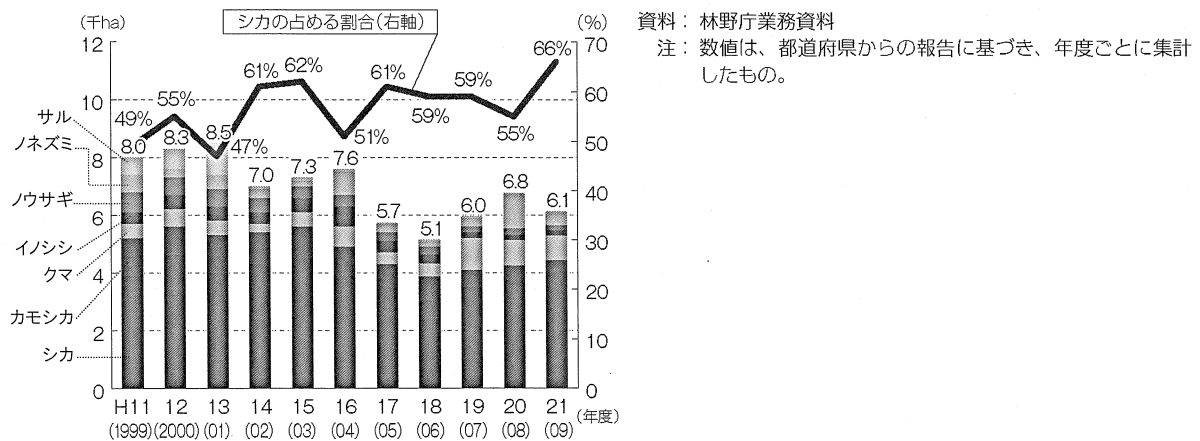


図1；野生鳥獣被害面積の推移
(平成22年度森林・林業白書より)

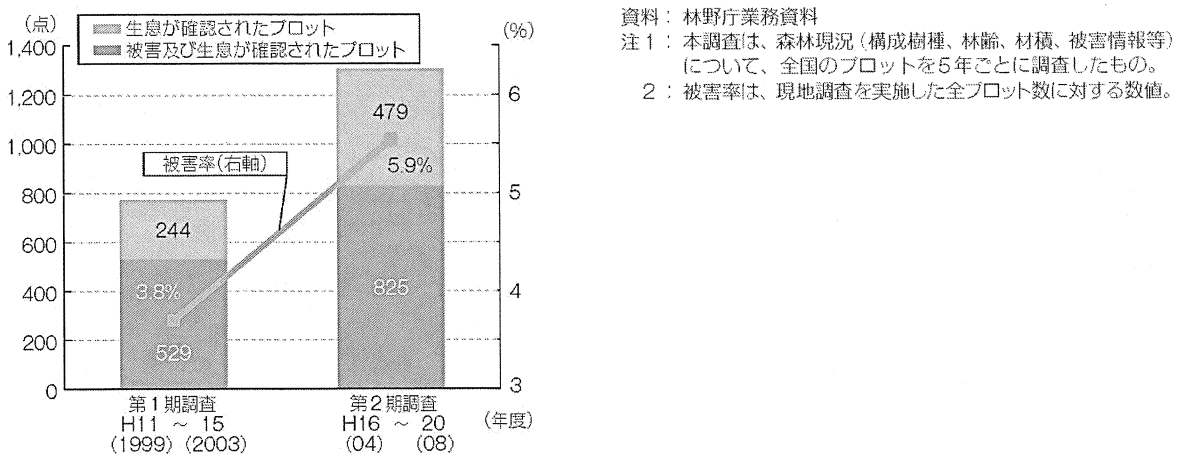


図2；森林資源モニタリング調査におけるシカ被害の状況
(平成22年度森林・林業白書より)

II-2 平成21年12月に策定された「森林・林業再生プラン」では、森林資源の活用に向けて、国内の加工・流通構造の改革や木材利用の拡大に関する具体的な対策を検討することとされた。平成22年11月に報告された「森林・林業再生プラン」推進に当たっての具体的な対策に関する最終とりまとめ「森林・林業の再生に向けた改革の姿」では、木材利用部門において、下図のような対策が提言されている。

「平成23年度森林・林業白書」で指摘されているように、「森林を伐採して木材として利用し、国産材の加工・流通・利用体制を構築することが喫緊の課題となっている。」ことを踏まえ、我が国の木材の生産・加工・流通・利用体制の現状について述べよ。さらに、下図（出典；平成22年度森林・林業白書）に示された改革を実現するための対策について、森林・林業あるいは林産業のいずれかに焦点を絞り、川上から川下のマッチングに果たしうる役割を想定しながら、あなたの考えを述べよ。



資料：森林・林業基本政策検討委員会

図；我が国の木材の加工・流通・利用体制の改革の姿
（平成22年度森林・林業白書の図を一部改変）